

コミュニティ・スクール推進委員の皆様による評価(ご意見)

*評価書の報告及び説明を受けて

1 特色ある学校づくりについて

○全教職員で研究に取り組み、研究発表でその成果が示せた。

2 一人一人の能力を引き出し、個性を伸ばす教育の推進について

Q：地域人材、文化等を生かした「美山学」は、目標通り前年度より増加したか。

A：新たな単元、教材を増やせた。

○美山学だより、学校だより、美山学リーフレットの配布によって、学校・地域が連携して進める研究への理解が深まりつつある。

3 人権尊重を踏まえた豊かな人間性を育む教育の推進について

○再編当初は、旧5校の学校間の隔たりや新たな人間関係の構築を心配していたが、子どもたちの様子を見て、互いを認め合う気持ちが高まってきているように思う。

○仲間が増えたことで、子どもたち同士で問題を解決する力が高まったのではないか。

●保育所から中学校まで人間関係が固定化するので、おとなしい子どもなどが心配である。

●いじめ問題に関して、わずかでもいやな思いをする児童がいる限り、寄り添いながらじっくりと丁寧に指導してほしい。

●小さな事象でも事象ごとの丁寧な指導で成長を促してほしい。

4 健康で安全な生活実践能力と態度を育成する教育の推進について

●外で元気よく遊ぶという機会が少なくなり、ゲームの普及等の弊害が大きい。

●通学方法や学校での滞在時間を踏まえ、思い切った運動時間確保の策を講じなければ、体力の現状を打破できないのではないか。

●不審者や熊出没等の心配もあるが、中学生を含めバス停まで保護者の自動車による送迎を見ると体力面、その他の面で心配になる。

●旧小学校で実施していたように、朝マラソン等で具体的な目標を持たせる工夫が必要ではないか。

5 安全・安心を確保するための学校防災力の向上について

●停電・断水等に対応できる力を家庭でも培っておかなければならない。

●想定を越える災害が頻発している。そういったケースを想定した対応を準備しておく必要がある。

6 豊かな学びと育ちを促す学校力の向上について

○以前から美山に関わってきた教員が配置されていることで、地域・学校相互の理解が深まっている。